

2005年・初夏号

## CONTENTS

特集1 ..... 4-9

平成17年度事業計画

特別寄稿 ..... 2

・株式会社レーモンド設計事務所  
代表取締役 青地 是明

NEWS ..... 2-3

・オーバーヘッドドアが防犯目録に追加登録  
・「住まいの防犯展」への出展で防犯性能の高さをPR!

特集2 ..... 10-12

原材料・資材等に関する

会員企業への緊急影響調査を実施

スポットライト ..... 13

ドア事業を積極推進!  
～JSDAの自主的な取り組みを加速～  
・防火・防煙ドアの技術基準等の冊子が完成!  
・鋼製重量ドアへのブランドラベルの貼付!

トピックス ..... 14

・危害防止装置の標準装備化へ  
建築法施行令改正、12月に施行!

新会員紹介 ..... 14

シリーズ ..... 15

第2回 製品ではなく技術を売る  
・東京大学大学院環境学専攻 助教授 清家 剛

データ ..... 16



(上) 定時総会の様子  
(左下) 懇親会の様子  
(右下) 「住まいの防犯展」に出展された玄関ドア

# シャッターに求める 機能美



株式会社 レーモンド設計事務所  
代表取締役 青地 是明

建築の設計を進める上でシャッターの設置を考えなくてはならない機会は様々です。

最も一般的な設置例は、防災（防火・防煙）設備としての機能でしょう。又、店舗等で設置を考える際には防犯機能に重点を置いたシャッター設置もございます。

前者は、非常時の稼働を前提とした場合には、其の存在を消し去ることが、良質な設計表現と見做されております。ホテル等インテリア重視の階段室周での防火用シャッターレールの殆んどが、スリットの奥にひっそりと施され表舞台に顔を出すことは有りません。

このように機能を否定し意匠性に重点を置かざるを得ない残念な解決方法、或いは意匠的無策のままに露出した設計しか成されていないのがシャッターの設置の実状であろうと存じます。

弊社、創業者のA.レーモンドは、『自然は、人工よりも美しい。単純さと軽快さは複雑なものより美しい。建築

の広さにしても、材料にしても、節約は浪費よりも美しい結果を生む。そしてすべてこれらの美的要素は、建築の実用的、美的機能を中心として生まれなければならない。』という言葉を残しています。又、近代建築の原理としてとらえた五原則を「単純さ (simple)、正直さ (honest)、直裁さ (direct)、経済性 (economical)、自然さ (natural)」とも表現しております。

私共も、これらを近代建築に於ける原則として設計活動を致しておりますが、設計範囲の中で、シャッターを実用的、美的機能を積極的に捉えた、建築表現を怠ってきたことも否めません。

昨今の社会情勢を考えますと、防犯・防災に重点を置いた建築ニーズが高まるのは必然かと思われ、建築におけるシャッターの在り方（表現）を今一度、設計原理・原則に基づき発想してみたいと考えます。

## NEWS

### オーバーヘッドドアが防犯性能の高い 建物部品目録に追加登録

このたび、ガレージなどに使用される「オーバーヘッドドア」が、5分の侵入抵抗性能を持つ建物部品として「防犯性能の高い建物部品目録」に追加登録され、金剛産業㈱、三和シャッター工業㈱、東洋シャッター㈱、文化シャッター㈱の4会員の対応製品が、財団法人全国防犯協会連合会が運営するホームページ「防犯性能の高い建物部品目録」上に公表された。

今回登録されたオーバーヘッドドアを含め、官民合

同会議から侵入抵抗性試験及びその合否の判定を委任されている防犯建物部品は、当協会の「防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管理委員会」が申請を受け、公平、中立に防犯性能試験結果の審査を行うとともに、防犯建物部品の登録手続きを行っている。

協会は、オーバーヘッドドアの他にも5分の侵入抵抗性能を持つ軽量シャッター、ドアB種、窓シャッター等をはじめ、現在自主的に進めている10分の侵入抵抗性能を持つ重量シャッター、スチールドアを含めて、今後もより一層、関係官公庁、関係団体との協力を得て、防犯性能の高い建物部品の啓蒙・普及に努めていく考えだ。

## 「住まいの防犯展」への出展で 防犯性能の高さをPR！

「住まいの防犯展～住まいの防犯対策は万全ですか？～」が3月22日から5月31日までの約2ヶ月間、東京都文京区にある住宅金融公庫本店の「すまい・るギャラリー」で開催され、玄関ドアやシャッターをはじめとする防犯性能の高い建物部品の実物が展示された。

この防犯展は、当協会の他に姉ベターリビング、旧日本サッシ協会、板硝子協会、日本ウインドウ・フィルム工業会、日本ロック工業会、住宅金融公庫住情報相談センターとの共同主催により、マンションなどの集合住宅や戸建住宅の防犯性能、また人々の防犯意識をより高めることを目的とし開催されたもの。

展示された製品は、三和シャッター工業機他の玄関ドア4点、文化シャッター機の軽量シャッターとスイッチボックス、旧日本サッシ協会各社から窓シャッター、面格子付サッシと後付面格子。その他、日本ロック工業会各社から玄関用錠前7点と板硝子協会から防犯ガラス3点、日本ウインドウ・フィルム工業会から防犯フィルムが展示された。

また、分かりやすい説明によるパネルの展示や映像上映が、実際に操作できる展示製品とあいまって、来場者の防犯意識向上に一役買ったようだ。

さらに、5月22日にはセミナー「防犯に強い住まいづくり」が開催され、第1部では、明治大学理工学部建築学科助教授・山本俊哉氏による「最近の防犯事情とその対応策」が講演された。ここでは、防犯に強い住まいづくりの考え方や、玄関、窓、駐車場、マンション共有部分などの防犯診断と対応策のポイントについて紹介された。山本氏は「狙われない防犯住宅（日経BP社）」や「防犯まちづくり 子供・住まい・地域を守る（ぎょうせい）」などの著書があり、コンサルタントとして都市景観・防災・防犯等の行政施策などに携わっている方だけに、講演はリアリティの高いものとなった。

続いて第2部では、日本ロック工業会で試験審査委員を務める小島博之氏により、防犯性能の高い建物部品の紹介（錠前編）が行われ、錠前に関する犯罪の現状やピッキング法について、防犯性能高い建物部品と錠の性能表示との関係など、年々増加し凶悪化する侵入窃盗犯に対する対策として紹介された。

今回の防犯展は、防犯性能の高い製品をより多くの人に知っていただき、性能を実感していただける機会となり、防犯性能の高い建物部品の認知の拡大、防犯意識の向上につながった。



▲玄関ドア



▲窓シャッター



▲面格子



▲軽量シャッター



▲パネル展示

# 特集1

## 平成17年度

# 定時総会開催される

さる5月13日(金)午後、東京・港区の赤坂プリンスホテルにおいて(社)日本シャッター・ドア協会・平成17年度定時総会及び定例理事会が開催された。当日は、引き続き、同ホテルにて例年定例で行っている記者会見、その後も恒例となる各界の来賓を招いて会員が集う懇親会が開催された。



### ■第41回定時総会

5月13日(金)14時半より、赤坂プリンスホテル別館3F「梓」にて第325回定例理事会が開催され、その後引き続き、会長、副会長、理事、監事全員出席の下、総会が開催された。

総会は会長あいさつで始まり、議事録署名人の選出を経て、議事に移った。議事は、

- 第1号議案 平成16年度事業報告承認の件
  - 第2号議案 平成16年度収支決算承認の件
  - 第3号議案 平成17年度事業計画(案)承認の件
  - 第4号議案 平成17年度収支予算(案)承認の件
- 以上4議案が審議され、それぞれ承認された。

平成16年度事業報告では、防犯、安全対策、ドア事業の取り組みなどが主なものだが、項目のみを列举

すると、1.防火設備安全確保に関する政令改正の対応 2.JSDA 総合安全対策研究会の活動 3.防犯自主管理委員会の設置 4.防犯建物部品の普及促進 5.運動機構・装置等自主評定の実施 6.防火シャッター・ドア保守点検専門技術者認定講習会の開催等 7.防火・防煙ドア技術基準等の策定 8.高速シートシャッター技術標準の策定 9.ドア事業総合プロデュース会議の活動 10.会員交流の推進 11.情報提供、情報交換の推進 12.会議の開催、委員会等の活動状況、以上である。このほか、会務報告として、昨年度開催された会議、委員会等のすべての日程と審議項目を文書で報告している。

平成17年度事業計画については、6～8ページに別掲した。

総会は、予定どおり15時50分に審議を終了した。

### ■関係紙・誌記者を招き定例記者会見

5月13日(金)16時より、赤坂プリンスホテル別館「ローズルーム」において、日刊紙、専門紙26社を集めて、定例の記者会見を行った。会見には岩部会長、高山副会長、東田副会長、大沼専務理事、後藤理事が立ち会った。

会見は、岩部会長より総会が終了した旨を報告し、冒頭に、「会員数は、本日の理事会で191社になった。協会

の今年の最大の課題は鋼材値上げ問題だ。鋼板は、平成14年のkg当たり単価に対し平成16年には38円上がっており、今年度は、さらにそれを上回る。そのため、4月27日に、(社)日本建設業団体連合会、(社)全国建設業協会、(社)建築業協会、(社)東京建設業協会、(社)住宅生産者団体連合会の5団体に「鋼材価格及び原材料等の高騰に伴う価格改善のお願い」として文書で申し入れた」と、鋼材値上

げの実態とその対策について強調した。

その後、新年度方針の説明として、次のように骨子を語った。

「安全に関する3つの柱がある。1つ目は、防火に関わる安全対策である。シャッター・ドアの経年変化による製品劣化から事故を未然に防ぐには定期点検がカギとなる。実効性を高めるには、法制化が必要と考え働きかけをしている。

2つ目は、事故の安全対策である。そのひとつとして、防火シャッターの危害防止装置の標準化が法制化の流れとしてある。これに関連する建築基準法施行令112条の改正は、12月1日の施行予定であるとされている。

3つ目は、防犯の安全対策である。防犯性能の高い建物部品である「CP商品」の普及をさらに一段と加速させる。

また、ドア事業の推進として、防火・防煙ドアの技術基準を作成し会員に配布した。今後は、JSDA会員は階段室にも遮煙性能のあるドアを設置していく。また、防火ドアのブランド表示を徹底させ、責任の明確化を図りたい」

さらに、大沼専務理事から補足説明がされ、質疑応答

に入った。

記者からは、メンテナンス（定期点検）の強化策の件、CP商品の促進の件などが質問されたが、最も関心が高かったのは鋼材値上げの影響であり、ドア業界の実態として東田副会長は「ドアは原材料費のウエイトが高い商品で（鋼材値上げの）影響を最も大きく受けている。実態的には倍近い値上げとなっている。さらに、調達難も既に起きている」と、深刻化する一方の状況について理解を求めた。

質疑応答の後、会見は約1時間で終了した。



## ■平成17年度表彰

平成17年度表彰者は、優秀施工者国土交通大臣顕彰者表彰として3名、日本シャッター・ドア協会委員会委員表彰として8名の方が対象となった。

### ■平成17年度優秀施工者国土交通大臣顕彰者表彰

トステム鈴木シャッター㈱ 堀 繁夫氏  
㈱文明シャッター 小笠原次郎氏  
㈱横引シャッター 倉嶋 幸雄氏



堀 繁夫氏



小笠原 次郎氏



倉嶋 幸雄氏

### ■平成17年度

#### 日本シャッター・ドア協会委員会委員表彰

東洋シャッター㈱ 成松 哲氏（業務委員会）  
文化シャッター㈱ 市川治彦氏（人事労務委員会）  
東洋シャッター㈱ 本山保志氏  
（シャッター技術委員会）  
文化シャッター㈱ 植竹徹氏（基準委員会）  
三和シャッター工業㈱  
小室昭榮氏（メンテナンス委員会）  
三和シャッター工業㈱  
野田真人氏（ドア分科会）  
文化シャッター㈱ 長嶋和義氏（広報委員会）  
小松電気産業㈱ 先久尚文  
（シートシャッター分科会）



成松 哲氏



市川 治彦氏



本山 保志氏



植竹 徹氏



小室 昭榮氏



野田 真人氏



長嶋 和義氏



先久 尚文氏

## ■平成17年度定時総会懇親会が開催される!!

5月13日(金)17時から、恒例の定時総会懇親会が赤坂プリンスホテル・別館「粹」において、多くの来賓と会員約250名が集い、盛大に懇親会が開催された。

大川事務局長の司会により開会。最初に、岩部会長より総会で新年度事業計画等が承認された旨の報告と、業界の現状として鋼材値上げ問題への対応などを交えてあいさつがあった。

引き続き来賓の祝辞としては、和泉洋人・国土交通省審議官、田中和徳・衆議院議員、菅義偉・衆議院議員、太田昭宏・衆議院議員から、会員数の拡大など当協会発展を称えながらのあいさつをいただいた。

その後、平成17年度の協会表彰が行われ、今年度は、「優秀施工者国土交通大臣顕彰者表彰」として3名、「当協会委員会表彰」として8名が受賞した。

受賞者の顔ぶれは別掲のとおりである。

懇親会は、表彰を経て、森田豊二郎理事による乾杯の後飲談に移り、会場に交歓の輪が広がっていった。

会員数の拡大と相まって、例年、出席者が増えており、大きな盛り上がりを見せながら懇親会は進んだ。

開会からおよそ1時間15分が経ち、18時50分に中締めが行われた。

中締めは、恒例となった後藤忠義理事の打ち解けたあいさつで会場を沸かせた後の三本締めで、今年もなごやかに会場を後にする出席者が多かった。



▲懇親会の様子



▲会長あいさつ



▲和泉洋人・国土省審議官



▲乾杯・森田理事



▲太田昭宏・衆議院議員



▲田中和徳・衆議院議員



▲菅義偉・衆議院議員

## 平成17年度事業計画

協会は、平成12年12月に国土交通大臣の定款変更の認可を得てから4年を過ぎましたが、この間、鋭意会員の拡大、事業の拡充を図ってきました。また、本来の協会事業である防火・防煙対策のほか、製品の事故に係る基本的な安全対策、社会的な要請に応じた防犯対策等の新たな事業を推進してきました。

会員各位が一致協力してこれらの事業に精力的に取り組んできたことが評価され、今や会員数は191社となっ

ています。協会は、今後なお一層、会員が抱えている共通の課題を検討し、関係行政機関と協力して社会的な使命を果たしていく事業活動が期待されております。

さて、我が国の国内総生産は、長期にわたりその成長が横ばい状態でしたが、平成16年度末の内閣府の景気基調判断によれば、景気動向指数のうち、個人消費、鉱工業生産、大口電力使用量等の増加が見られ、「踊り場景気」を脱する兆しがあるとして上方修正されました。

しかしながら、依然としてIT在庫調整が続けられている中で、原油相場は高値での推移傾向にあり、鉄鉱石・原料炭の値上がりによる鉄鋼製品の価格上昇は、当協会にとって大きな問題で、協会会員は、経営改善に努めるとともに一丸となって取引の適正化に取り組むことが緊要の課題となっています。

主な事業活動として、先ず、防犯対策については、「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」（以下「官民合同会議」という。）が平成16年4月以降に登録した5分の侵入抵抗性能のある建物部品を、更に一層普及することに努めます。

また、当協会が官民合同会議から侵入抵抗性試験及びその合否の判定を委任されている防犯建物部品については、昨年度協会に設けた「防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管理委員会」において、会員以外を含めて申請を受け付け、公平、中立に審査を引き続き行い、性能ある防犯建物部品の登録手続きを進めます。

さらに、協会は、関係行政機関からのより防犯性能の高い建物部品の供給の要請を受けて、協会が自主的に進めている10分の侵入抵抗性能のある重量シャッター、スチールドアの登録・普及を、関係機関と協議を行いつつ、官民合同会議において位置付けることとします。

事故安全対策については、昨年度協会に設けられた「JSDA総合安全対策研究会」において、全般的に検討を始めているところですが、事故防止・安全対策だけでなく防火安全上信頼性に問題のある湿度ヒューズ装置は、

火急な対策として自主的に使用しないことを会員に対し徹底するとともに、協会の責務として危害防止装置の標準装備化を関係者に協力を求めていくこととします。特に、既設の湿度ヒューズ装置の改善を建築物の管理者等に要請し、これを推進する方策について引き続き検討していきます。

品質保証に関しては、オーバーヘッドドアを含めシャッター関連製品について、製品の保証期間を既にドアで実施している2年に延長することと、併せて新たに使用回数に基づく保証制度を加えることとし、特にカウンターを設置することによって建築物管理者等の管理意識の向上を図り、ひいては事故安全対策に寄与する方策を検討、推進します。

特に、国土交通省では、防火設備の閉鎖作動に際しての安全確保について、建築基準法施行令の改正を進めています。協会としては、合理的な運用が図られるよう国土交通省告示等の策定について当局との協議を進め、法令改正に伴う対応策を検討し、より一層の事故安全対策を推進します。

また、国の「自動回転ドアの事故防止対策に関する委員会」での事故事例が安全対策に生かされていないなかったという議論を踏まえて、協会としては、事故情報の収集・報告システムを構築し、事故事例を適宜公開して、安全性の向上を図るための措置を講じます。

防火安全対策については、昨年度策定した「防火・防煙ドア技術基準」等関係基準に基づき、協会は、遮煙性能

## 平成17年度事業・重点項目

### 1 協会事業の推進

- (1) シャッター・ドアに関する新規事業の企画、運営の推進
- (2) 協会事業に係わる防火安全対策、事故安全対策、防犯対策等の推進
- (3) 関係官公庁等との連携、協力の強化
- (4) 新規会員の入会促進、会員のための事業の推進

### 2 防火設備定期点検の法制化と協会事業との調整の推進

- (1) 国土交通省への定期点検法制化の要請と協会の執行体制の強化
- (2) 特殊建築物定期調査報告制度との連携の推進
- (3) 防火設備整備手帳の推奨と定期点検契約の推進
- (4) 作動点検・検査点検・保守点検に係る業務の促進と資格制度の見直し
- (5) 現行の点検資格者等の認定講習会の推進

### 3 防火設備の自主管理の推進等

- (1) 防火区画、防火設備の性能に関する情報の収集等性能規定化への対応
- (2) 連動機構・装置等の自主評定の推進
- (3) エレベーター周り複合防火設備の自主管理の推進
- (4) 耐火クロススクリーンの技術標準、点検契約等自主管理による運用の徹底
- (5) 防火・防煙ドアの自主管理の推進

### 4 官民合同会議における防犯対策の推進

- (1) 官民合同会議に係る協会の自主管理の実施
- (2) 協会関係の防犯建物部



のある防火・防煙ドアを自主的にたて穴区画等に設置するなどの普及に努めますが、更に都道府県・政令指定都市関係部局、特定行政庁等に通知し、行政当局に推奨をお願いするとともに、関係者の協力を得ていくこととします。

これらの実施に当たっては、エレベーター周りの構造方法として国土交通大臣認定の性能があり、当協会に使用登録された防火・防煙ドア（開き戸、折りたたみ戸）の運用と基本的には連携して行うこととし、協会は、会員の防火・防煙ドアの使用登録等の推進と、これらの普及に関し自主的に運用を図っていきます。

また、当協会の防火安全対策の基本的な課題である定期点検の普及に関して、管理者等の十分な理解が得られず、また協会及び会員の努力にも限界があって、防火安全対策上重要な施設である防火設備の点検整備が促進されていない状況があります。このため、他の昇降機・建築設備と同様に定期点検の法制化を、関係機関に対し要請していくこととします。

なお、協会は、定期点検の法制化に向け、実効性のある制度とするため、点検の内容、点検結果の取扱方、点検資格者の在り方、消防関係との連携方策、補修との連携方策等について、協会の既存の運用制度を踏まえ検討していくこととします。

あわせて、特殊建築物の定期調査報告制度にある防火設備の作動点検の推進策を講じるとともに、建築物管理

者等の維持管理意識の向上と点検契約の推進を図るため、防火設備の整備手帳の整備を早急に進めることとします。

また、維持管理上の問題が指摘されている耐火クロススクリーンについては、定められた技術標準に準拠し、維持管理契約の徹底を図ることについて、自主的な運用・管理を積極的に行います。

その他、既の実施している（社）日本火災報知機工業会及び日本防排煙工業会と共同で行っている運動機構・装置等、官民合同会議での当協会が申請窓口となっている防犯建物部品、国土交通大臣認定（CAS）の複合防火設備に係る防火・防煙ドア等の自主評定事業を着実に推進し、これらの普及を図ります。

このほか、ドアにあつては、当協会の重要な事業推進項目であるが、昨年度行ったアンケート結果によるドア固有の問題の対策を検討するとともに、軽量ドアに関する各種技術基準の策定、メーカーブランドの表示等により社会的な責任を果たす諸対策などを行っていくこととします。

その他、シャッターにあつては、高速シートシャッターの技術標準の策定等を行います。

以上に加え、シャッター・ドア共通の課題である生産性向上等の合理化方策、品質確保に関する自主的な運用方策等の検討など各種緊要な事業を推進します。

今年度は、これらを踏まえ、重点項目として次の事業を行います。（重点項目は、P7 から P8 の下段に別掲）

## 平成 17 年度事業・重点項目

品の品質確保と普及促進

- (3) 関係 5 団体との協調した防犯対策の推進
- (4) 重量シャッター等の侵入抵抗性能 10 分の官民合同会議での位置付け

### 5 事故安全対策の推進

- (1) 防火設備の安全確保のための政令等改正の推進
- (2) 障害物感知装置による危害防止対策の推進
- (3) 管理用自動シャッター安全確保のための法制化の要請
- (4) 事故の報告制度の確立と事故安全対策の推進
- (5) 品質保証制度及び設計耐用年数の研究

### 6 ドアの事業推進

- (1) 防火・防煙ドアの普及と自主管理の推進

- (2) 軽量ドア技術基準等の策定
- (3) メーカーブランド表示の実施
- (4) 事業推進パンフレットの作成
- (5) 防火・防煙ドアの点検推進方策と点検資格の在り方の検討

### 7 シャッターの事業推進

- (1) 高速シートシャッターの技術標準の策定
- (2) 共通カタログ、取扱説明書の作成

### 8 会員相互の連携強化と広報活動の推進

- (1) 支部の設置と情報交流の推進
- (2) 「JSDA」会報による協会活動の広報
- (3) ホームページによる迅速な情報の提供
- (4) 鉄鋼製品等の値上げに伴う請負契約の適正化と関係団体への要請
- (5) 製品保証、苦情対応策等の制度の確立

### 9 その他の必要な事業

防火性能の高い建物部品  
JSDAガイドライン



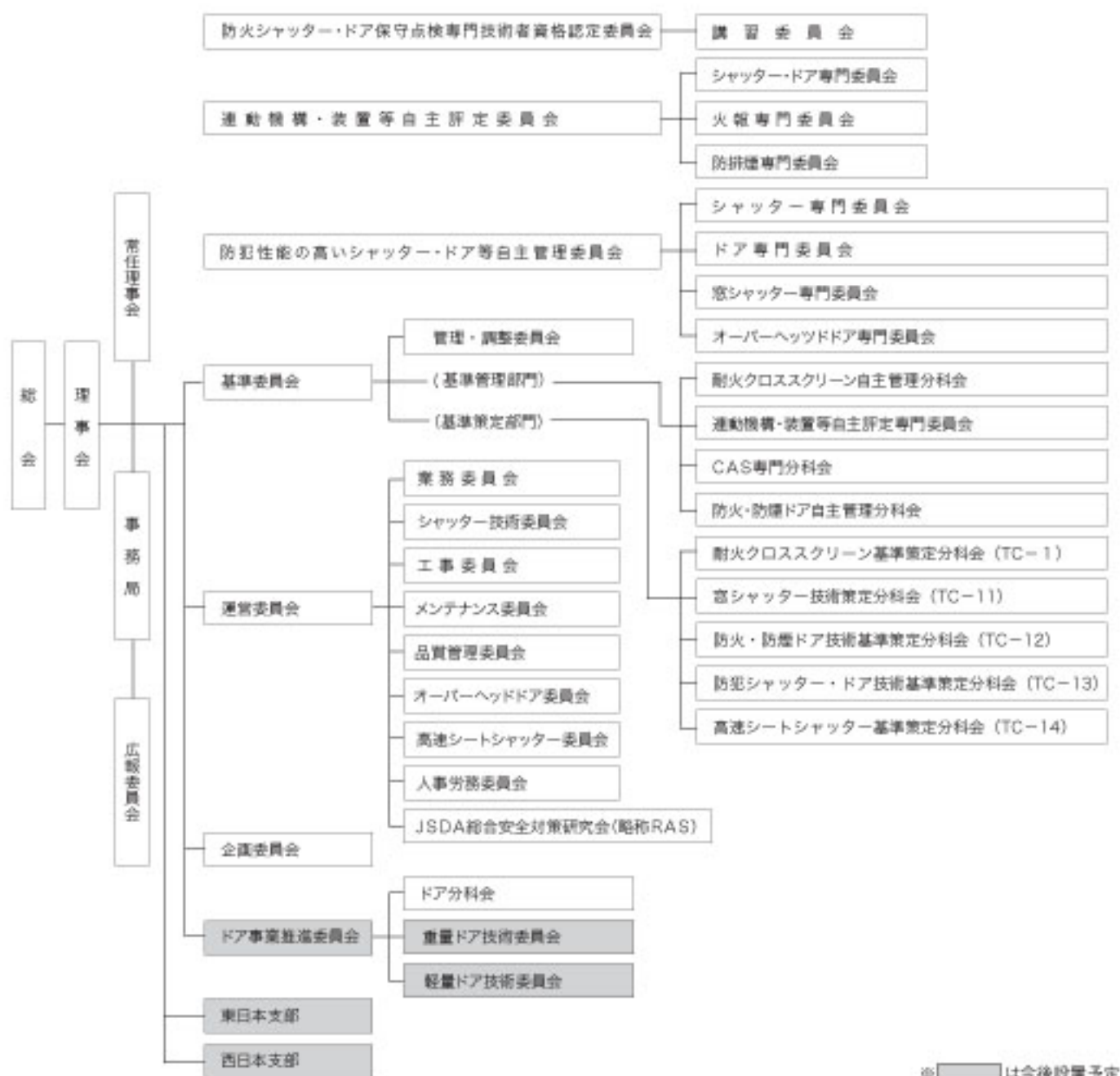
「防火性能の高い建物部品」について



防火性能の高い建物部品  
JSDAガイドライン



## ■平成17年度 運営組織体制



| 名称                                | 所管委員会等                   | 責任者         | 関係団体等備考                                     | 備考          |
|-----------------------------------|--------------------------|-------------|---|-------------|
| 防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議官民合同会議 | 官民合同会議<br>試験委員会<br>普及委員会 | 委員：大沼専務理事   | 警察庁、国交省、経産省、JSDA、JSMA、板硝子協会、日本ロック工業会、全防連、BL |             |
| 防犯性能の高い建物部品普及促進協議会                | 5団体                      | 委員：水島、白井、益子 |   |             |
| (財)日本建築防災協会評議会                    |                          | 評議員：大沼専務理事  |   |             |
| 防火材料等関係団体協議会                      | 防団協議運営委員会                | 委員：大沼専務理事   |   |             |
|                                   | 防団協議企画委員会                | 大川 (JSDA)   |   |             |
| 建設専門業高度化対策委員会                     |                          | 小畑 (三和)     | (社)建設産業専門団体連合会                              | 建専連         |
| 運動機構・装置等自主評定委員会                   |                          | 委員：大沼専務理事   | (社)日本火災報知機工業会<br>日本防排煙工業会                   | 和田谷委員長 (火報) |
| CAS業務運営委員会                        |                          | 中谷 (文化)     | (社)日本サッシ協会                                  |             |
| 窓シャッター自主管理合同委員会                   |                          | 佐藤 (三和)     | (社)日本サッシ協会                                  |             |

## 原材料・資材等に関する会員企業への緊急影響調査を実施

JSDAでは鋼材の価格上昇について、影響が大きいとみられる一種及び二種会員 104 社に対して緊急の影響調査を実施しました。

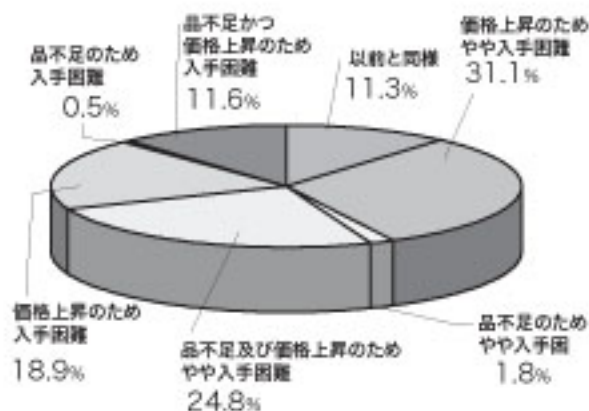
その結果、シャッター 20 社、ドア 32 社から回答があり、鋼材価格の上昇や鋼材の品不足の実状、価格への転嫁が難しいといった意見が寄せられるなど、会員各社の厳しい現状が改めて浮き彫りとなった。

アンケートの設問と結果については次のとおりです。(アンケート実施：2005年2月16日～28日)

### (1) 製品の原材料等(資材含む)の種類と入手困難性について

#### (1-1) 原材料の入手困難性についての要因について

「価格上昇のためやや困難」が 31.1%、「価格上昇のため困難」が 18.9% と全体の半数を超え、「品不足かつ価格上昇のためやや困難」と「品不足かつ価格上昇のため困難」を合計すると 86.4% となり、鋼材価格の上昇が多くのメーカーの鋼材仕入れに大きく影響を及ぼしています。品不足による影響も含めると全体で約 88.7% の企業が鋼材の入手に関して影響を受けています。

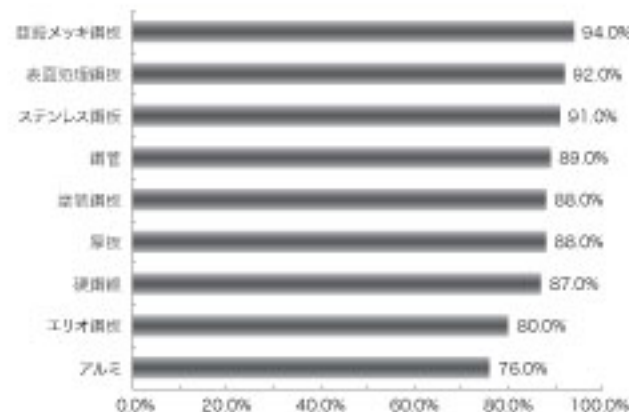


|               | やや困難  | 困難    |
|---------------|-------|-------|
| 価格上昇のため       | 31.1% | 18.9% |
| 品不足かつ価格上昇のため  | 24.8% | 11.6% |
| 品不足のため        | 1.8%  | 0.5%  |
| 鋼材の入手に関する影響合計 |       | 88.7% |

#### (1-2) 価格上昇と品不足により影響の高くなっている鋼材の種類について

調査では、「亜鉛めっき鋼板」「表面処理鋼板」「塗装鋼板」「エリオ鋼板」「厚板」「ステンレス鋼板」「硬鋼線」「鋼管」「アルミ」といった、製品の原材料となる各鋼板等

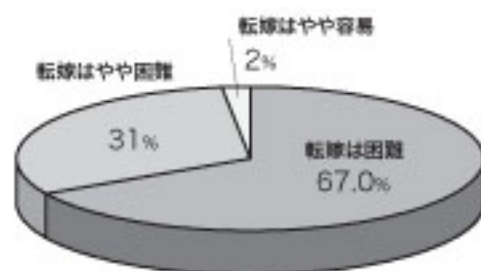
の影響度を調査しました。最も影響を受けている鋼板は亜鉛めっき鋼板、続いて表面処理鋼板、ステンレス鋼板などとなっています。



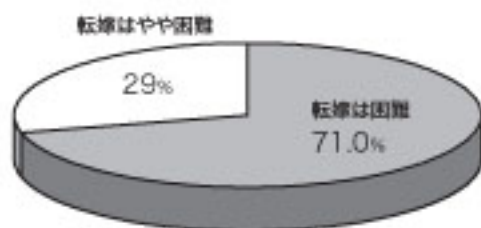
### (2) 原材料等の価格上昇による製品価格への転嫁について

原材料の価格上昇分の製品価格への転嫁については、98% のメーカーが困難と回答しており、「利益率が少なく非常に苦しい」「大手メーカーがまず製品の値上げをして中小メーカーを牽引して欲しい」など、中小メーカーの苦しい実態をうかがわせる結果となり、業界全体に危機感が漂っています。

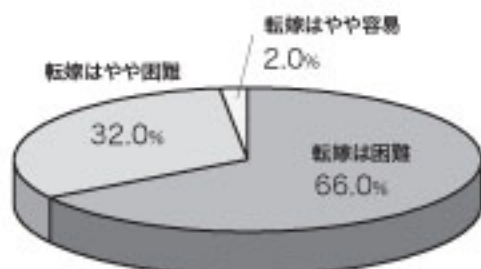
■全体



■シャッターメーカー



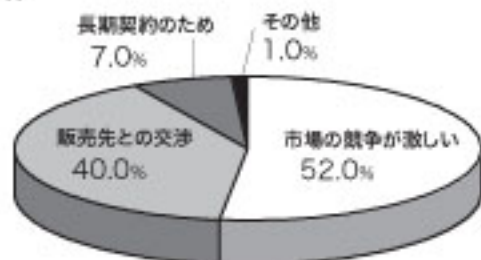
■ドアメーカー



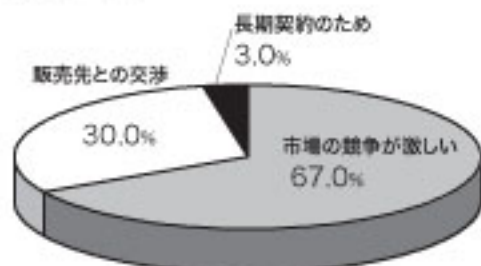
(3) 転嫁が困難な場合の理由について

全体的に「市場の競争の激しさ」と「販売先との価格交渉が難しい」といった回答が約92%を占めており、「価格を転嫁した仕切りを出す」と失注が多くなる」といった意見もありました。市場競争の激化によるデフレ傾向の止まらない業界では、原材料価格のインフレというねじれ現象が発生しており、メーカーの収益性を大きく圧迫しています。「業界で関係諸機関、建設業界への陳情や働きかけが必要」、「大手メーカー主導の値上が必要」などの意見も寄せられています。

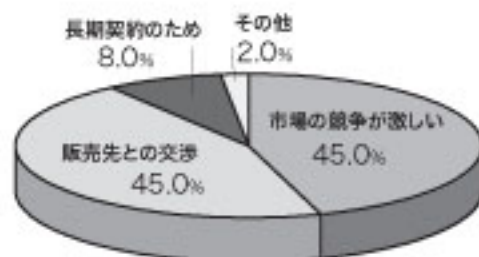
■全体



■シャッターメーカー



■ドアメーカー

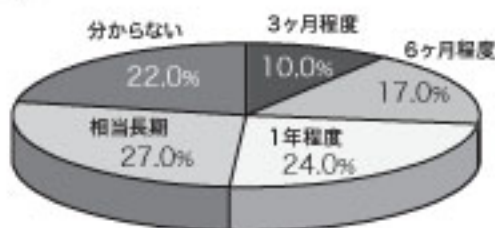


(4) 今後の原材料価格の上昇期間について

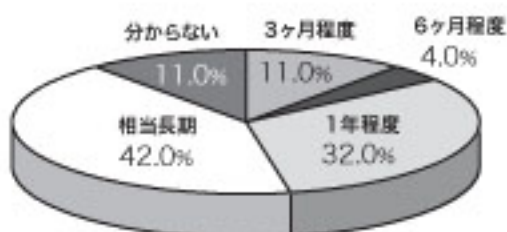
全体の73%以上が、今後1年以上にわたって鋼材価格の上昇が継続すると予想しており、特にシャッターメーカーでは85%以上がさらに長い期間を予測しています。

また、回答の中には「資金繰りの悪化」を懸念する意見などが寄せられています。

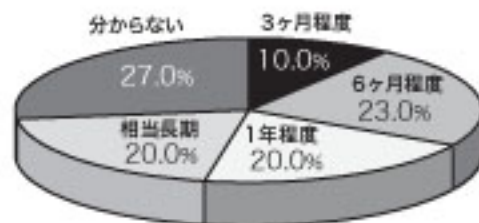
■全体



■シャッターメーカー



■ドアメーカー



## 価格改善の要請を建設 5 団体に文書で申し入れ !!

当協会はさる 4 月 27 日、大沼専務理事他関係者が建設 5 団体を訪問し、「鋼材価格及び原材料等の高騰に伴う価格改善のお願い」と題した要請を文書で申し入れた。

これは、原材料価格上昇分のコスト負担の困難を訴え、適正な価格での取引を業界として要請したもので、今後、具体的な価格改善の要請については各会員企業が個別に説明していくことになる。

### ■価格改善の申し入れ先

社団法人 日本建設業団体連合会、社団法人 全国建設業協会、社団法人 建築業協会  
社団法人 東京建設業協会、社団法人 住宅生産者団体連合会

### ■価格改善要請書

平成17年4月27日

社団法人 日本シャッター・ドア協会  
会 長 岩 部 金 吾

#### 鋼材価格及び原材料等の高騰に伴う価格改善のお願い

謹啓 時下ますます御清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は当協会の事業活動に対し、御指導、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、皆様には既に御承知のとおり、一昨年来建高用鋼材を含む鋼材価格及び各種資材価格は、国際的な需給の不均衡により高騰を続けており、品薄感が市場全体に広がっている状況であります。

当業界が製造する開口製品（ドア・シャッター等）においても例外ではなく、鋼材はもとよりアルミニウム・ステンレス・プラスチック等に至るあらゆる資材・副資材の値上がりが見られ始めております。

主要資材の鋼板 1.6-2.3mm の価格は、平成 14 年平均 52 円/kg、平成 15 年平均 61 円/kg、平成 16 年平均 90 円/kg 台となり、更に 100 円/kg を超えるのが必至の状況であります。この結果、業界におきましても金額ベースで、150 億円のコスト増が見込まれます。今後更なる値上がりと言給ひつ追が予想され、原材料の供給を受けるためには鋼材等の値上げを容認せざるを得ない事態に至っております。

これまで、当協会会員各社は、原価の上昇を最小限に押さえるべく努力をまいりましたが、当協会が平成 17 年 2 月に実施しました緊急アンケート調査において、「原材料価格の高騰分を合理化等により吸収できる余地はもうない」との意見が会員各社の強い声として寄せられております。さらには、「原材料の入手困難」である。との回答は 88.7% の企業に達し、多くの会員企業の経営基盤を揺がし、企業の存在すら危ぶまれる調査結果となっております。

このような状況の中、当協会会員各社は、今後原材料価格上昇分の一部を製品価格へ反映させていただき、お客様に適正な価格でお取引をお願いしたいとの意向であります。具体的なお願いにつきましては関係企業から御説明させていただくことにして、何とぞ当業界の事情を御理解いただき、早期に特設の御配慮を賜りますよう、貴協会傘下の会員企業皆様へ御周知していただきますよう重ねてお願い申し上げます。

敬 具

# スポットライト

## ドア事業を積極推進!

～JSDAの自主的な取り組みを加速～

### 防火・防煙ドアのJSDA技術基準等の冊子が完成!

JSDAにおいては従来ドアにおける技術基準書等が未整備でしたが、今般「防火・防煙ドア技術基準策定委員会」で検討を重ねてきた各種基準の策定が完了し、冊子にまとめたものが完成しました。

内容は、防火・防煙に関する技術面の他に、施工、点検面の基準まで踏み込んだものとなっております。策定の狙いとしては、昇降路区画以外にも、防火上重要な異種用途区画、避難上重要なたて穴区画に、遮炎・遮煙性能が定められた国土交通大臣認定のCAS仕様（CAS-0002、CAS-0040）の防火設備を使用することで、防火設備として十分な遮煙性能を確保し維持することを目的としており、当協会では会員各社に同防火設備の設置を奨励しております。

#### (内容)



- ・防火・防煙ドア技術基準（鋼製開き戸）
- ・防火・防煙ドア技術基準（鋼製折りたたみ戸）
- ・防火・防煙ドア施工基準
- ・防火・防煙ドア点検基準
- ・防火・防煙ドア施工検査要領

- 申し込みは JSDA 事務局 (TEL 03-3288-1281)
- 525 円 / 冊 (送料別途)

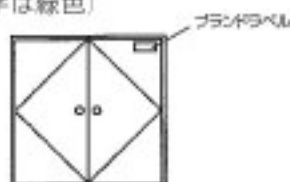
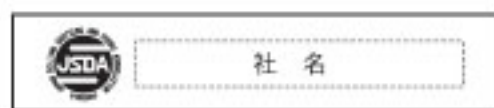
### 鋼製重量ドアへのブランドラベルの貼付!

製品に貼付されるブランドラベルは、ユーザーに対して製造者を告知し、トラブル発生時の迅速な対応を可能とする重要な役割をもっています。しかしながら、歴史的な慣行から鋼製重量ドアにおいては現在、ラベル貼付はほとんど実施されていません。鋼製重量ドアの特異性（現場塗装、独自性の少なさ、過去の歴史）はありますが、製造者責任等に関する社会認識も厳しくなりつつあるなか、当協会はブランドラベルの標準化を図り、貼付の徹底を図ることとしました。

狙いとしては、ユーザー告知、ブランドイメージの確立等はもちろんですが、特に歌舞伎町の雑居ビル火災時には、防火ドアの保守点検の重要性が再認識されたことから、会員企業にとって今後のドアのメンテ市場へのアプローチ展開に有効な対策にもなる。

#### (ラベルデザイン)

- ・JSDA 標準化ラベル（推奨）
- \*巾 50 mm × 高さ 10 mm、透明テトロン製（文字は緑色）
- JSDA マーク入り、企業名の字体は統一



#### (運用)

- 貼付方法
- ・時期 - 仕上げ塗装後の貼付とし、1 開口 1 枚
- ・場所 - 常時閉鎖タイプ  
: 吊元側・内部側・扉上部
- 常時開放タイプ  
: 吊元側・通路側（戸袋収納時）・扉上部

- 申し込みは JSDA 事務局 (TEL 03-3288-1281)
- 15 円 / 枚 (1000 枚ロット、企業名入り)

# 会員数が191社に拡大!

## ▼会員数の推移

| 会員種別  | H13年(2001年)<br>5.31現在 | H14年(2002年)<br>3.31現在 | H15年(2003年)<br>9.16現在 | H16年(2004年)<br>9.14現在 | H17年(2005年)<br>6.9現在 |
|-------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 第一種会員 | 13                    | 13                    | 13                    | 16                    | 17                   |
| 第二種会員 | 25                    | 36                    | 61                    | 88                    | 92                   |
| 準会員   | 14                    | 20                    | 31                    | 31                    | 33                   |
| 賛助会員  | 34                    | 44                    | 47                    | 49                    | 49                   |
| 合計    | 86                    | 113                   | 152                   | 184                   | 191                  |

## 新会員紹介

### シャッターセンター株式会社 (第二種会員)

代表取締役 東山 日出夫  
本 社 長野県佐久市  
設 立 昭和49年11月1日  
事業内容 シャッター、エクステリア等の販売、施工  
(入会:平成17年1月理事会)

### オレットドア販売株式会社 (第二種会員)

代表取締役 高松 俊郎  
本 社 富山県富山市  
設 立 平成6年8月1日  
事業内容 福祉ドア各種、玄関ドア、シャッター等の製造、販売  
(入会:平成17年1月理事会)

### オペレーター建機株式会社 (準会員)

代表取締役 久保 新助  
本 社 大阪府豊中市  
設 立 昭和53年4月  
事業内容 各種オペレーター他設計、施工、販売、メンテナンス  
(入会:平成17年1月常任理事会)

### 株式会社ケンセイ (静岡) (賛助会員)

代表取締役 清下 薫  
本 社 静岡県静岡市  
設 立 昭和49年10月1日  
事業内容 スチールドア組立用パーツ及びサッシドア金物の販売  
(入会:平成17年1月常任理事会)

### 東邦工業株式会社 (第二種会員)

代表取締役 渡邊 武  
本 社 埼玉県北葛飾郡  
設 立 昭和25年5月26日  
事業内容 スチールドア、防火ドア等の製造  
(入会:平成17年1月理事会)

### サンレックス株式会社 (第二種会員)

代表取締役 加藤 幹夫  
本 社 静岡県沼津市  
設 立 昭和51年9月29日  
事業内容 鋼製建具の製造、販売、施工  
(入会:平成17年5月理事会)

### ニッケイ株式会社 (準会員)

代表取締役 甲斐 祥徳  
本 社 東京都品川区  
設 立 昭和40年3月3日  
事業内容 各種電磁レリーズ、ダンパー、排煙口等の製造、販売  
(入会:平成17年1月常任理事会)

## トピックス

### 危害防止装置の標準装備化へ建基法施行令改正、12月に施行!

国土交通省では、防火シャッター等による重大事故の発生に伴い、危害防止機構の設置等により安全を確保するため、防火設備の閉鎖に際しての安全確保に関する建築基準法施行令第112条第14項を改正する方向で、6月中旬、この改正に関するパブリックコメントが出されました。施行は12月1日を予定しており、今後、改正施行令の公布、告示の改正が早い時期に行われる予定となっています。

協会は、建築基準法に基づく防火設備である防火・防煙シャッターの本質的な安全対策として、『防火・防煙シャッター危害防止機構 技術基準』・『同 設置基準』を策定し、危害防止装置の標準装備化に向け準備を進めてまいりましたが、今回の法改正にあたり国土交通省の要請を受け、政令、告示改正の内容等についてなお一層推進してまいります。

シリーズ：第2回

# 製品ではなく 技術を売る

東京大学大学院  
新領域創成科学研究科  
環境学専攻  
助教授 清家 剛



## 1. 最近の地震被害

昨年秋の新潟県中越地震の復旧も終わらぬうちに、3月には福岡県西方沖地震が発生しました。とくに福岡では、ガラスがわれる被害が大きく取り上げられ、都市部における震災被害の恐ろしさを痛感することとなりました。多数のガラスが割れた「福岡ビル」の被害は、ほとんどがはめこりしの硬化性パテ止めという、昭和48年の建設省告示109号の改正によって禁止された取付け方法でした。その後国土交通省はこうした既存不適格の改修を促そうとしています。

一方で福岡では、マンションのドアが開かなくなるという被害も取り上げられています。地震後にドアをこじ開けて避難したという例がいくつかありました。また比較的新しい建物でもこうした被害があったため、その後の修理などで問題となっています。そもそもドアの耐震性には、きちんとした基準がありません。また、地震直後には開くことが求められるが、そのあとは財産の保全の意味から閉じることが求められます。しかし、これらに対応した耐震ドアというものは、高価であり普及していない、というのが実態であり、阪神淡路大震災以降ほとんど進展がないというのが実感です。

窓の耐震性にはきちんとした基準があり、それを守るべきだということで決着しましたが、一方でドアについては、今後の展望があるわけではなく、あいかわらず耐震ドアはあるけれど、あまり設置されない、ということで片付けられています。しかし、これでいいのでしょうか。ドアは最終的になんとか逃げられたからよしとする、ということでは片付けられません。たとえば地震後に火災が発生したとすると、早急に逃げる必要があり、人命を守る重要な要素となります。

## 2. 最低基準から高性能化に向けて

一方で、福岡の被害を都市部の地震として考えると、昼

間のオフィスビルにおける避難が問題だということに気がつきます。今回は休日でしたが、オフィスビルなどの内部のドアについても、地震後にスムーズに避難するためには、直後にきちんと開かなければなりません。大勢の人々が働くオフィスビルでは重要であるにもかかわらず、こうした内部の避難路の確保と耐震性についてはあまり議論されていません。こうしたことに対応することの重要性を考え直さなければなりません。

こうした議論のときに、結局は設計者や施主が性能の高いものを選んでくれない、といったことが言われますが、この意見には二つの疑問があります。まず、本当に高い性能の製品が提供できるのかということと、製品を選んでもらうという以上のことを考えていないということです。

前者で言えば、耐震ドアとして売り出されているものにも性能の限界があり、まだ性能をきちんと表示するレベルには至っていません。なにより、躯体などの変形に対してどれほどの効果があるのかも、疑問が残ります。つまり、たとえ耐震性に優れたドアを選択したところで、実際に効果があるか不安が払拭できない状態だと感じられます。

後者については、部品メーカーとしてドアやシャッターを販売するというだけでは、総合的な安全性といったものは、提供できないと感じています。それは設計者の責任だというだけでは、何も生まれません。提供する製品の性能を最大限生かす方法を使う方法を、設計者や施主とともに考えたり、あるいはコンサルティングするようなことが必要なのではないでしょうか。それによって、初めて本当の高性能の製品が提供できるように思われます。

## 3. ソフトも含めた技術力

ここで指摘しているような高性能のものは、まだまだ求められていない、と考えていると、あっという間に時代においていかれるのではないかと感じております。

リスクマネジメントが求められる社会になってきた今、こうしたソフトも含めた提案のできる技術のあり方を考えてみるのが重要ではないでしょうか。たとえば家具メーカーは、ただ家具を売る時代から、家具配置を提案し、その後の組織変更などに対応したマネジメントまで行うようになってきました。このような新しいビジネスにつながる技術力の付け方が、あるように感じています。

ものだけ売るのであれば限界があることもわかっているわけです。設計者とともに使い方も含めた提案を行うような技術力をつければ、またあらたな展開が見られるのではないかと期待しています。

# データ

## ■過去1年間推移

(㎡、前年比・電動化率%)

|      | H16.5月  | 6月      | 7月      | 8月      | 9月      | 10月     | 11月     | 12月     | H17.1月  | 2月      | 3月      | 4月      |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 重量   | 101,269 | 126,286 | 125,627 | 122,519 | 137,683 | 123,779 | 128,868 | 128,965 | 124,827 | 126,330 | 132,045 | 109,037 |
| 前年比  | 8.6     | 22.0    | 3.8     | 13.3    | 7.1     | -14.4   | 17.5    | 20.8    | 19.4    | 25.6    | 22.9    | 6.7     |
| 軽量   | 236,705 | 273,667 | 274,433 | 240,777 | 389,149 | 380,052 | 379,674 | 344,203 | 207,934 | 221,581 | 254,193 | 257,143 |
| 前年比  | -11.1   | 3.4     | 1.2     | 5.0     | 45.6    | 31.0    | 50.1    | 30.2    | 10.6    | 3.8     | -5.4    | -5.1    |
| 電動化率 | 24.3    | 24.8    | 24.7    | 24.2    | 17.3    | 18.7    | 20.3    | 22.0    | 25.9    | 23.9    | 23.7    | 23.0    |
| グリル  | 6,831   | 8,784   | 10,483  | 7,475   | 9,489   | 8,671   | 8,800   | 10,054  | 6,671   | 7,432   | 8,381   | 8,504   |
| 前年比  | -0.9    | 9.8     | 40.4    | 0.7     | 15.6    | -1.8    | 6.0     | 18.4    | -19.2   | -7.6    | -10.5   | 10.9    |
| CHD  | 17,838  | 23,014  | 24,361  | 29,129  | 31,269  | 33,726  | 38,369  | 31,895  | 23,519  | 26,225  | 25,684  | 21,538  |
| 前年比  | -5.7    | 4.7     | -8.8    | 24.0    | 4.9     | 24.3    | 41.7    | 24.1    | 12.7    | 7.3     | 13.4    | 18.9    |
| 合計   | 362,643 | 431,751 | 434,904 | 389,900 | 567,590 | 546,228 | 555,711 | 515,117 | 362,951 | 381,568 | 420,303 | 396,222 |
| 前年比  | -5.9    | 8.5     | 2.0     | 8.5     | 31.4    | 16.0    | 39.6    | 27.1    | 12.8    | 10.1    | 3.0     | -0.7    |

## ■出荷数量年間推移(4月～翌年3月累計)

(㎡、前年比%)

|     | H4        | H5        | H6        | H7        | H8        | H9        | H10       | H11       | H12       | H13       | H14       | H15       | H16       |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 重量  | 1,936,939 | 1,676,527 | 1,524,206 | 1,707,897 | 1,737,110 | 1,775,359 | 1,574,810 | 1,286,780 | 1,492,832 | 1,097,308 | 1,208,205 | 1,328,258 | 1,480,370 |
| 前年比 | -3.2      | -13.4     | -9.1      | 12.1      | 1.7       | 2.2       | -11.3     | -18.3     | 16.0      | -26.5     | 10.1      | 9.9       | 11.5      |
| 軽量  | 5,288,063 | 4,843,331 | 4,677,685 | 4,544,678 | 4,730,120 | 4,195,575 | 3,896,089 | 3,732,420 | 3,487,158 | 3,333,097 | 3,190,771 | 3,038,800 | 3,473,445 |
| 前年比 | -12.2     | -8.4      | -3.4      | -2.8      | 4.1       | -11.3     | -7.1      | -4.2      | -6.6      | -4.4      | -4.3      | -4.8      | 14.3      |
| グリル | 134,198   | 118,814   | 103,601   | 108,744   | 114,051   | 111,020   | 103,457   | 108,042   | 114,744   | 103,625   | 101,043   | 96,616    | 100,736   |
| 前年比 | -8.1      | -11.5     | -12.8     | 5.0       | 4.9       | -2.7      | -6.8      | 4.4       | 6.2       | -9.7      | -2.5      | -4.4      | 4.3       |
| CHD | 462,639   | 430,393   | 383,865   | 417,438   | 464,464   | 435,581   | 368,259   | 328,943   | 343,957   | 314,316   | 299,480   | 285,952   | 323,150   |
| 前年比 | -4.1      | -7.0      | -10.8     | 8.7       | 11.3      | -6.2      | -15.5     | -10.7     | 4.6       | -8.6      | -4.7      | -4.5      | 13.0      |
| 合計  | 7,821,839 | 7,069,065 | 6,689,357 | 6,778,757 | 7,045,745 | 6,517,535 | 5,942,615 | 5,456,185 | 5,438,691 | 4,848,345 | 4,799,479 | 4,749,626 | 5,377,701 |
| 前年比 | -9.6      | -9.6      | -5.4      | 1.3       | 3.9       | -7.5      | -8.8      | -8.2      | -0.3      | -10.9     | -1.0      | -1.0      | 13.2      |

## ■過去1年間推移

(枚、前年比%)

|        | H16.5月 | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月     | H17.1月 | 2月     | 3月     | 4月     |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 鋼製重量ドア | 45,812 | 46,543 | 41,906 | 45,822 | 49,302 | 48,240 | 44,994 | 48,919  | 48,711 | 46,676 | 49,547 | 42,811 |
| 前年比    | 5.2    | 0.6    | -13.7  | -5.9   | -3.8   | -11.3  | -23.5  | -12.7   | -11.5  | -19.6  | -18.2  | 4.2    |
| 鋼製軽量ドア | 52,588 | 67,606 | 70,716 | 65,338 | 73,744 | 72,826 | 87,491 | 103,508 | 86,667 | 88,568 | 72,838 | 62,587 |
| 前年比    | -6.0   | 5.0    | 0.9    | 1.4    | 0.8    | -6.4   | 13.0   | 5.0     | -1.6   | -8.1   | 0.4    | 14.5   |

## ■出荷数量年間推移(4月～翌年3月累計)

(枚、前年比%)

|        | H15     | H16     | 前年比   |
|--------|---------|---------|-------|
| 鋼製重量ドア | 630,028 | 557,553 | -11.5 |
| 鋼製軽量ドア | 894,050 | 896,529 | 0.3   |

注)

- ・「鋼製重量ドア」は鋼製建具を、「鋼製軽量ドア」は鋼製軽量建具を指します。
- ・鋼製重量ドアは、ガスチャンバー、点検口を含みます。
- ・鋼製軽量ドアは、日本鋼製軽量ドア協議会の統計によります。



# 建築空間を 快適堅固にサポートする

**企画 設計 製作**

一貫した3本の柱と豊富な製品で、  
あなたの建築物をしっかりと支える総合メーカーです。



株式会社 **キンマツ**

**本社**  
〒536-0001 大阪市城東区古市3丁目6番13号  
TEL: 06-6939-1541 (代) FAX: 06-6939-1372

**工場**  
〒579-8025 東大阪市宝町5丁目12番  
TEL: 0729-87-2261 FAX: 0729-87-2262

<http://www.kinmatu.co.jp/index.htm> E-mail: [info@kinmatu.co.jp](mailto:info@kinmatu.co.jp)

三和  
シャッター

## 個性派宣言



## シンプルだけど雄弁で頼もしいガレージ。

見て楽しく見せて嬉しい。人も車も住まいも喜ぶアメリカンテイストのガレージドア。



静かでスピーディな動作性が特長のオーバーヘッドドア。二重の安全機能を備え、稼働範囲の広いリモコンで操作性も向上。突然の故障や事故にもFTS(24時間フルタイムサービス)で迅速に対応。

※大抵の住宅用の本製ガレージにもご用意しております。

速くて静かセアメリカン・スタンダード。デザインにも機能にもこだわりました。

**Candy**  
Garage Door

## 「新日鉄の高耐食性めっき鋼板」

金属の腐食に頭を抱えている方、工程省略や部材のコストダウンを模索している方、

ぜひ、ご相談ください。

# SUPERDYMA<sup>®</sup>

スーパーダイマ

with 新日鉄, to win!

**新日本製鐵**

薄板事業部

スーパーダイマの詳しいご案内は

スーパーダイマホームページ URL/

<http://www.nsc.co.jp/usuita/superdyma>

お問い合わせは

E-mail

[superdym@hq.nsc.co.jp](mailto:superdym@hq.nsc.co.jp)

## ◆住友金属



### 住友金属工業株式会社

お問い合わせ先

〒104-6111 東京都中央区晴海1-18-11(トリトンスクエア)  
薄板営業部 TEL:03-4416-6333 FAX:03-4416-6356

〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-3(住友ビル)  
大阪薄板営業部 TEL:06-6220-5590 FAX:06-6220-5970

### 住友の環境対応型薄板製品シリーズ

#### クロムフリー表面処理鋼板

電気亜鉛めっき鋼板

#### スミジंकNEOコートT1

##### ■特長

1. 導電性と耐食性のバランスに優れた性能を有しています。
2. 耐腐食性に優れており、成型寿命を向上させます。

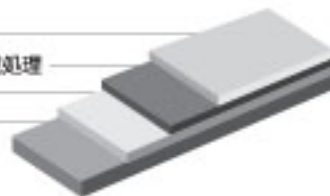
##### 被膜構成

有機被膜

クロムフリー化成処理

電気亜鉛めっき

鋼板



溶融亜鉛めっき鋼板

#### タフジंकNEOコートK

##### ■特長

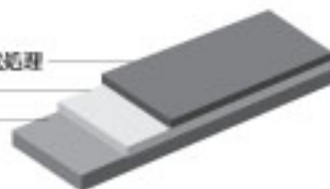
1. クロムを全く含まない特殊製法による新化成処理製品です。
2. 従来のクロムめっき処理表面処理鋼板と同等の性能を有しています。

##### 被膜構成

クロムフリー化成処理

溶融亜鉛めっき

鋼板





# ZAM

詳しくはホームページをご覧ください。  
[www.nisshin-steel.co.jp](http://www.nisshin-steel.co.jp)

日新製鋼

## 日新製鋼は、ZAMを通じて お客様の無限の可能性を拡げていきます。

※ZAMとは、亜鉛-アルミニウム6%-マグネシウム3%のめっき層を持つ新しい用途のめっき鋼板です。



さまざまな形状が  
ご提供可能です。



丸形鋼管



角形鋼管



厚板鋼板



波板



シャッター

用途：薄板建材全般



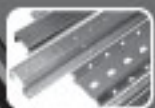
ノンスリップメタル



一般構造用鋼板



特殊鋼板



プレノッチ鋼板

### ZAMは、「性能」「コスト」「環境」の「トリプルメリット」。

性能

亜鉛めっき鋼板（当社製品をベンチマーク）  
に比べて10～20倍の耐食性。亜鉛-5%  
アルミニウムめっき鋼板（当社製品もガルベイト）  
と比べても5～10倍の耐食性を誇ります。

コスト

高品質の鋼材に耐食性から、  
部材の厚さを削減できることから、  
部材の重量削減のめっき（めっき）やユニク  
ロのめっきの代替としてご使用いただくこと  
ができ、お客様の工期短縮が期待されます。

環境

少ないめっき層厚で高耐食性が得ら  
れる。「長寿命化が図れる」という観点  
から、資源節約の製品としての優位が  
期待されています。



ちょっと良くて安いZAM。

●亜鉛めっき鋼板のZAMの製造方法 ●日本住宅用鋼板のZAMの製造方法 ●ZAMの加工方法 ●ZAMの塗装方法 ●ZAMの成形方法 ●ZAMの溶接方法 ●ZAMの切断方法 ●ZAMの曲げ方法 ●ZAMの圧延方法 ●ZAMの熱処理方法 ●ZAMの検査方法 ●ZAMの保管方法 ●ZAMの輸送方法 ●ZAMの施工方法 ●ZAMの廃棄方法 ●ZAMの再利用方法 ●ZAMの環境対策 ●ZAMの社会貢献 ●ZAMの未来展望

日新製鋼株式会社

〒100-8388 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国産ビル TEL.03-3216-5166

BX

文化シャッター

## 快適で安心の暮らしは 窓からひろがります。

窓は外の世界とプライベートな住空間との接点となるため、窓シャッターは暮らしの安全、安心、快適を創るうえで大切な役割を果たします。文化シャッターでは時代と社会のニーズに応じ、防犯性能と機能性をアップしたニューバージョンを開発、快適で安心の暮らしをサポートします。

### 防犯対策に――

空き巣の侵入手口の多くはガラス破り。窓シャッターがあるだけで侵入抑止・阻止効果を果たします。



安心の2重ロック、障害物感知機能やワイヤレス操作、タイマー機能等の使いやすさに加え、換気・採光機能をもつハイスベック仕様をラインアップ。さらに外壁仕上げ前と仕上げ後仕様を用意し、追加設置、リフォームにも対応しています。



住宅用窓シャッター

マドマスターリード (外壁仕上げ前仕様)  
マドマスタータツ (外壁仕上げ後仕様)

●換気・採光モデル/スタンダードモデル



「防犯性能の高い窓シャッター」ラインアップ

文化シャッター株式会社

〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3 TEL.03(5844)7111 ホームページ <http://www.bunka-s.co.jp/>

### 「行田蓮（古代蓮）」

古代蓮は、昭和 46 年に公共施設工事の際、地中の種子が自然発芽、開花したものです。

また、花弁数が 13 枚から 18 枚と少ない原始的な形態を持つ一重咲種で、およそ 1400 年前から 3000 年前の蓮とされています。

地中の種子が自然に発芽することは極めて珍しく、行田市では天然記念物に指定し、保護しています。

（写真は、埼玉県行田市。撮影：三和シャッター工業 伊藤 俊美）



## JSDA 会報 2005 年・初夏号

発行日：2005 年 7 月 1 日 通巻第 16 号

発行 者：社団法人 日本シャッター・ドア協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-3 フナトビル 4F

tel.03-3288-1281 (代) / fax.03-3288-1282

URL:<http://www.jsd-a.or.jp>